令和7年度 五島市立玉之浦小中学校 学校経営方針

五島市立玉之浦小中学校 校 長 山 下 政 徳

1 はじめに

教育基本法の精神に基づき、長崎県教育委員会・五島市教育委員会の教育方針・理念に則り、本校の児童生徒や地域社会の実態及び保護者や時代の要請を踏まえつつ、小中併設校の強みを生かしながら、将来の夢の実現に向けて、ひたむきに前進しようとする心身ともにたくましい人間性豊かな児童生徒の育成に努める。

- 2 校訓 「創造」「親和」「鍛錬」
- 3 学校教育目標 「笑顔輝く」
- 4 育成したい資質・能力
 - O 友達の考えや教師の説明を聞き、正しく理解し活用できる技能 【知識・技能】
 - O 相手意識や目的意識をもち、自分の考えを深め、適切に表現できる力【思考力・判断力・表現力】
 - 友達の考えを受け入れ、自分の考えを高めようとする意欲

【学びに向かう力、人間性】

5 学校経営の基本方針

学校は、様々な知識を習得し、人との関わりをとおして社会を生き抜く術を身に付けていく有効な場と考える。子供達一人一人が、ここにいることで幸せを感じ、笑顔を輝かせながら未来を拓いていく力を付けさせていく必要があり、予測困難な社会を生き抜くために、困った時に活用できるたくさんの「引き出し」を子供達自身につくらせたいという思いである。

そこで、基本的な方針として以下の3点に力を注いでほしい。

- 〇 学力向上
 - ・未来で笑顔輝くための学力を保障する。
- 〇 社会性の育成
 - ・自他を認め、人とのつながりの中で動くことができる力を身に付けさせる。
- 〇 連携・協働の姿勢
 - ・小中併設の強みを活かして教育活動を進める。(小中連携)
 - ・保護者、地域と連携・協働する。
- (1) 目指す学校像
 - 〇 知性を磨き合う学校【創造】
 - 互いを認め合う学校【親和】
 - O 健康を保持増進する基礎をつくる学校【鍛錬】

- (2) 目指す子供(児童・生徒)像
 - 〇 学ぶ喜びを感じる子供【知】
 - 互いに認め合う子供 【徳】
 - 〇 心身ともに健全な子供【体】
- (3) 目指す教師像
 - 〇 自己研鑚に努める教師
 - 〇 一人一人と向き合う教師
 - 〇 信頼を得る教師
- 6 重点努力事項 ※人事評価票(業績評価)との関連 ※項目 | = 人事評価票に準ずる

項目2	具体的な行動目標と実践事項の例				
基礎・基本の定着と思考力・	〇 学ぶ意欲を高め、未来を拓く学力を身に付けさせる。				
判断力・表現力の育成	・学習規律の徹底				
(校内研修の充実)	・表現する場の意図的・計画的な設定				
	(練り合い・開き合い・振り返り)				
	・理解の状況に応じた個別指導				
	・ICT の効果的な活用				
	・小中間での連携の推進				
家庭学習による基礎基本の	〇 家庭学習の習慣化に努める。				
定着と深化	・個に応じた質と量				
	・意欲を喚起する関わり(褒める・認めるなど)				
	・家庭との連携(保護者への啓発)				
	・自主学習の推進				
学級経営	〇 児童生徒一人一人に寄り添った学級づくりを進める。				
	・学級目標と連動した具体的な方策の実践				
	・児童生徒や保護者との信頼関係の構築				
	・子供の変化に気付く教師				
	(複数の目で観察し、情報交換に努める。)				
道徳教育・人権教育の推進	○ 相手の気持ちを理解し、思いやりのある言動ができる				
	学校・学級をつくる。				
	・互いの違いを認め合う(子供の呼称は、「〇〇さん」)				
	・日々の生活の中での人権・平和教育の指導				
特別活動の活性化	〇 自分の役割に責任をもち、積極的に行動させる。また、				
	児童生徒が一緒に学び合える活動づくりを模索する。				
	・委員会や係活動での主体的な行動				
	・生徒会活動の活性化				
	(リーダー育成…憧れ・思いやり)				
	・ふるさと教育の充実				
	→行事の継承や地域の人材や文化等を活かす				
	基礎・基本の定着と思考力・ 判断力・表現力の育成 (校内研修の充実) 家庭学習による基礎基本の 定着と深化 学級経営				

	生活指導・生徒指導の充実	〇 「時を守り、場を清め、礼を正す」を習慣づける。			
		・さわやかなあいさつ			
		・時間を守り、余裕をもった行動			
		・整った環境づくり			
		・「きまり」を守る(理由や価値を伝える…「当たり前 <i>の</i>			
		ことは当たり前に」)			
	特別支援教育の充実	O 児童生徒が安心して学ぶことができる環境づくりに努			
		හි යි.			
		・特別支援コーディネーターを中心とした支援体制			
		・実態把握と共通理解の場の設定			
		・教育支援計画、指導計画に基づいた支援			
	キャリア教育の充実	O 学ぶ意義や働く意義、よりよく生きることについて考			
2		えさせる。			
生		・夢、憧れ、志を育むキャリア教育			
徒		・進路の実現に向けた学力保障			
指		・キャリアパスポートの活用			
導	体力向上および部活動指導	O 進んで体を鍛え、体力を身に付けさせる。			
		(体力向上は、多くの活動を支える基礎的な力になる。)			
		・走運動の推奨(基礎体力の増進)			
		・自主性や社会性を育む部活動指導			
	健康生活と保健指導	O 健康と安全に心がけて行動できる子供を育成する。			
		・基本的生活習慣、衛生習慣の定着			
		・安全な給食の提供			
		・行事や学級活動、給食時間における食育指導			
		・季節に合った衣服の着用			
	学びを広げる指導	〇 人に触れ本物に学ぶ、活字に親しむ活動を仕組む。			
		・コミュニティスクールの活用			
		・読書活動の推進			
		・作品(俳句・短歌・詩など)の創作			
	校務分掌	O 使命感と協働の精神を大事にした分掌事務に努める。			
		・お互い様の精神で、協力・協働で円滑な業務遂行			
-		・管理職や関わりのある担当との連絡や相談			
3	家庭や地域との連携	O 教育活動や情報を発信し、地域とともにある学校づく			
学		りに努める。			
校		・保護者との積極的な対応(迅速・丁寧・最後まで)			
運		・学級通信・ホームページなどでの積極的な情報発信			
営	للت عامل الله	・PTAおよび地域との相互連携(CSの活用)			
	教育環境の整備	〇環境づくりを通して学校教育を推進する。			
		・掲示教育(掲示板の有効活用)			
		・学級園での栽培・花づくりや生き物の世話			
		・教室や校舎、校地の環境整備			